

RGIS

AIポリシー

RGIS

2025

© 2025 RGIS. All rights reserved.
RGIS_MC_0072_01

目次

2 | CEOのメッセージ

3 | 職場におけるAI: AIポリシーが必要な理由

4 | 1. 導入

4 | 2. 目的

4 | 3. 範囲

4 | 4. 定義

5 | 5. 人工知能の倫理

5 | 6. 承認されたAIツールと使用方法

6 | 7. 禁止されている物理的およびソフトウェア的行為

6 | 8. 国境を越えたデータ転送と地域コンプライアンス

6 | 9. 環境と責任あるデジタルの影響

7 | 10. 責任、コンプライアンス、監視

7 | 11. ポリシーの修正

8 | 付録 – ChatGPT

従業員の皆さんへ

RGIS では人工知能 (AI) の変革力を活用していますが、私たちの成功は、このテクノロジーを倫理的、責任を持って、協力的に使用することにかかっています。AI は、当社の中核的な価値観に沿って業務を強化する必要があります。

誠実さ

私たちは AI を倫理的かつ透明性を持って使用し、公平性、説明責任、すべての規制への準拠を確保します。

卓越性

当社は、あらゆる AI 駆動型ソリューションにおいて、正確性、信頼性、品質を維持しながらイノベーションに努めています。

尊敬

当社は、AI アプリケーションにおける人間の尊厳、データのプライバシー、包括性を優先し、従業員、顧客、利害関係者に対する公平性を確保します。

チームワーク

当社では、人間の専門知識に取って代わるのではなく、チームをサポートし、強化するためのツールとして AI を統合し、コラボレーションを促進しています。

革新

当社は、AI を導入して効率性、意思決定、顧客サービスの向上を図りながら、その影響と有効性を継続的に評価しています。

これらの原則は AI ポリシーの基礎を形成し、RGIS 全体で AI を開発、実装、使用する方法を規定します。すべてのチームメンバーは、AI が当社の倫理基準とビジネス目標に準拠していることを確認する責任があります。

RGIS 内での AI の使用に関してご質問やご不明な点がございましたら、法務部 (GeneralCounsel@RGIS.com) までお問い合わせください。私たちの価値観を守り、AI が責任を持って使用されるよう努めてくださりありがとうございます。

敬具



Asaf Cohen
Chief Executive Officer

RGIS INTEGRITY EXCELLENCE RESPECT TEAMWORK INNOVATION



RGIS

AIポリシー

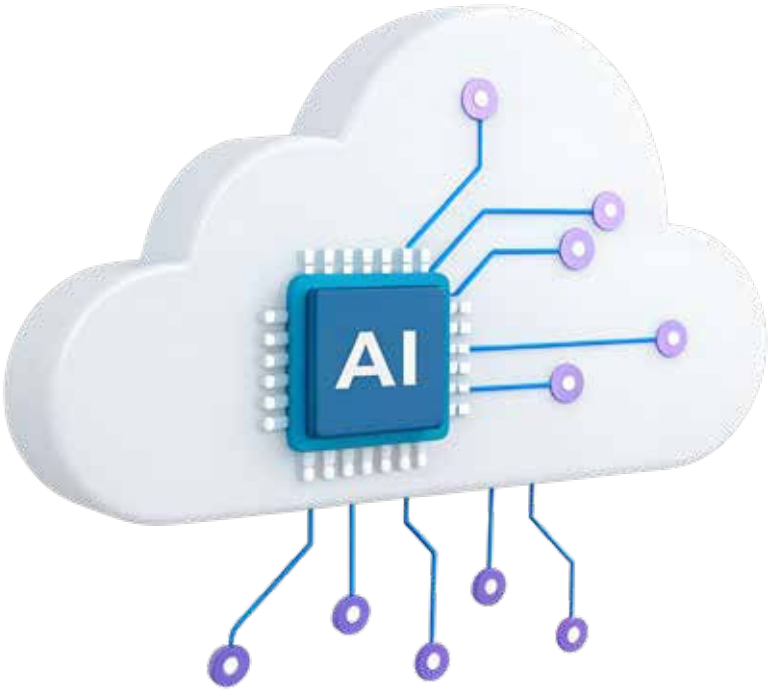
職場におけるAI: AIポリシーが必要な理由

AI が進化し続けるにつれて、生産性の向上、業務の効率化、イノベーションの推進につながる可能性は否定できません。しかし、大きな可能性には、データのセキュリティやコンプライアンスに関する懸念から倫理的な考慮や正確性の問題に至るまで、固有のリスクが伴います。当社の AI ポリシーは、機会とリスクの適切なバランスを実現し、AI が安全かつ戦略的に、そして当社のビジネス目標に沿って統合されるように設計されています。

AI ディレクターのリーダーシップの下、当社のプロセスにおける AI の統合は慎重に評価され、最大の価値をもたらす箇所に実装され、AI が人間の専門知識に取って代わるのではなく、サポートすることを保証します。このポリシーは、責任ある AI の使用をガイドし、すべての部門にわたって明確性、セキュリティ、コンプライアンスを確保するためのフレームワークとして機能します。

最近の評価では、組織全体での AI 導入のレベルがさまざまであることが明らかになりました。自動化、分析、コンテンツ生成のために AI を導入しているチームもありますが、セキュリティ、コンプライアンス、正確性に関する懸念から躊躇しているチームもあります。私たちのアプローチはこれらの懸念を認識し、教育、ガバナンス、安全な実装を優先して、ビジネスにおける AI の役割に対する信頼を構築します。

このポリシーを通じて、AI は単なるツールではなく、責任であることを強調します。従業員は、機密データの共有を避け、出力の正確性を確保し、意思決定において人間による監視を維持しながら、AI を倫理的に使用する必要があります。これらのガイドラインに従うことで、業務、従業員、そして将来を守りながら、AI の可能性を最大限に活用することができます。





RGIS

AIポリシー

1. 導入

このポリシーは、RGIS 内で生成型人工知能 (GenAI) を含む人工知能 (AI) 技術を責任を持って使用するためのガイドラインと標準を確立します。AI ツールは、通常人間の知能を必要とするタスクを実行するように設計されたテクノロジーですが、GenAI ツールは、特にユーザーの入力やプロンプトに基づいて、これまで定義されていなかった新しいコンテンツを生成します。GenAI ツールの例としては、ChatGPT、Gemini、Microsoft Co-Pilot、その他の同様のプラットフォームが挙げられます。AI および GenAI テクノロジーは、RGIS 全体に変革をもたらす可能性を提供し、データ分析、コンテンツ作成、プロセス自動化などの分野で業務を合理化し、生産性を高め、創造性を推進することを可能にします。

2. 目的

AI は驚くべき可能性を秘めている一方で、データのセキュリティ、機密性、正確性、知的財産のコンプライアンス、倫理的使用などに関連する重大なリスクももたらします。AI の変革の可能性を活用することと、AI に内在するリスクを軽減することの間で適切なバランスを見つけることは、責任ある効果的な実装を確実にするために不可欠です。

データを保護し、コンプライアンスを確保し、倫理基準を維持するための厳格な安全対策を維持しながらイノベーションを奨励する積極的なアプローチが必要です。このポリシーでは、RGIS 内での人工知能 (AI) システムの内部使用、開発、展開に関するガイドラインを概説します。

目標は、AI が以下を使用することを保証することです。

a. 倫理基準に準拠している

b. RGISの機密情報を保護する上でデータのプライバシーを尊重し、

c. 顧客データ

d. 規制枠組みに準拠するAI は、データのセキュリティ、機密性、正確性、知的財産のコンプライアンス、倫理的使用に関連するものを含む重大なリスクをもたらします。

このポリシーでは、RGIS 内での人工知能 (AI) システムの内部使用、開発、展開に関するガイドラインを概説します。目標は、当社の AI の使用が倫理基準に準拠し、RGIS の機密情報と秘密情報を保護する上でデータのプライバシーを尊重し、EU AI 法を含む規制の枠組みに準拠していることを保証することです。

3. 範囲

このポリシーは、RGIS が提供または承認した AI ツールやシステムを操作または操作し、RGIS データにアクセスする臨時従業員やインターン、請負業者、関連会社、第三者を含むすべての従業員に適用されます。組織内で使用される AI システムに関連する AI アプリケーション、データ処理、コンプライアンス要件をカバーします。

4. 定義

AI ツール: 人工知能技術 (機械学習、自然言語処理、画像認識、生成機能など) を活用するソフトウェア、アプリケーション、またはハードウェア。

AIガバナンスチーム: 人工知能(AI)技術の開発、展開、倫理的使用の監督と管理を担当する組織内のグループ

機密情報: 機密情報とは、RGIS が所有または非公開とするデータを指し、企業秘密、ビジネス戦略、財務情報、その他一般に公開されていない情報が含まれます。RGIS 独自の RM テクノロジー、在庫管理システム、RFID ソリューション、ワイヤレス テクノロジーの実装、クライアントの在庫データ (医療施設の監査データを含む)、社内通信、運用戦略など、すべての機密情報または非公開情報。



RGIS

AIポリシー

4. 定義

データ: ユーザー入力、システム出力、メタデータ、トレーニング、推論、意思決定に使用される構造化情報または非構造化情報など、AI システムによって収集、処理、または保存されるあらゆる情報を指します。

倫理基準: AI の責任ある使用をガイドし、公平性、透明性、個人の権利の尊重を保証する原則。

生成 AI: ユーザーの入力やプロンプトに基づいて、これまで定義されていなかった新しいコンテンツを生成するように設計された人工知能システムのカテゴリ。このコンテンツには、テキスト、画像、音声、ビデオ、その他の形式のメディアが含まれる場合があります。

独自システム: RGIS の RM テクノロジー、在庫管理システム、RFID およびワイヤレス テクノロジーの実装、および関連するデジタル インフラストラクチャ。

機密情報: 機密情報には、個人データ、健康記録、個人情報の盗難やプライバシー侵害につながる可能性のある情報など、その性質上保護が必要なデータが含まれます。

未承認の AI システム: AI ガバナンス チームによって明示的にレビューおよび承認されていない AI ツールまたはプラットフォーム。

5. 人工知能の倫理

5.1. 差別禁止

当社は、人工知能アルゴリズムを公正に開発し、使用することに尽力しています。当社は、年齢、性別、民族、信条などによる差別がないように、トレーニング データと AI モデルの偏りを検出して最小限に抑える制御を適用しています。

5.2. 透明性

当社のアルゴリズムによって自動化された決定は、関係するユーザーが理解しやすいように、わかりやすい方法で説明されます。これにより、特に結果が職業上または個人的な側面に影響を与える場合に、ユーザーは自動化された決定の背後にあるロジックをよりよく理解できるようになります。

5.3. 人間による制御

AI テクノロジーを組み込んだ業務では、意思決定プロセスの中心は依然として人間です。AI が関与する重要な決定については、常に人間による支援が可能であり、ユーザーや従業員は AI によって生成された結果について質問したり、明確にしたりすることができます。

6. 承認されたAIツールと使用方法

従業員は、次のいずれかの基準を満たす AI ツールを使用できます。

認定プロバイダー:よく知られた評判の良いベンダー (主に米国) が提供しているツール、またはコンプライアンスとセキュリティの実績が証明されているベンダーが提供しているツール。

社内開発ツール: RGIS IT チームによって開発および保守されている AI アプリケーション。

その他のすべての AI ツールまたはアプリケーションは、使用前に正式なレビュー プロセスを経て、AI ガバナンス チームから明示的な承認を受ける必要があります。



RGIS

AIポリシー

7. 禁止されている物理的およびソフトウェア的行為

従業員は以下を行ってはなりません:

許可されていない AI ツールをインストールまたは使用する:

- AI ガバナンス チームによる事前の確認および明示的な書面による承認なしに、RGIS 所有のデバイス、または RGIS ネットワークに接続された個人用デバイスに AI ソフトウェアまたはハードウェアをインストール、ダウンロード、または操作すること。
- 特に許可されていない限り、独自の RGIS システム (RM テクノロジー、在庫管理システム、RFID ソリューション、ワイヤレス テクノロジーの実装、タブレット アプリケーション、ダッシュボード システムなど) と統合またはインターフェイスする AI ツールを導入します。

セキュリティまたは承認プロトコルの回避:

- RGIS 内での AI システムの統合または使用を制御するために設計されたセキュリティ対策または承認プロセスを変更、バイパス、または無効にします。

AIツールをコアシステムに統合する:

- AI ガバナンス チームと IT セキュリティの両方からの明示的な許可なしに、RM テクノロジー、在庫管理システム、RFID ソリューション、ワイヤレス テクノロジー プラットフォーム、タブレット アプリケーション、ダッシュボードなどの RGIS の独自システムに AI ツールを接続または統合します。

顧客データの不正使用:

- 顧客データを収集、処理、または保存するために、許可されていないソフトウェア、ハードウェア、または外部ストレージデバイスを使用することは固く禁じられています。すべてのAIシステムは、データ侵害や不正アクセスを防ぐために、企業が承認したセキュリティプロトコルに準拠する必要があります。

8. 国境を越えたデータ転送と地域コンプライアンス

RGIS は世界規模で展開しているため、従業員は次の義務を負います。

- データを処理する AI ツールが、関連する管轄区域のデータ保護法および規制 (EU の GDPR、カリフォルニア州の CCPA、医療データに関する HIPAA、その他の国家標準など) に準拠していることを確認します。
- AI ガバナンス チームによって特に検討、文書化、承認されていない限り、AI システムを介して機密データやセンシティブなデータを国境を越えて転送しないでください。

9. 環境と責任あるデジタルの影響

デジタルフットプリントの削減:

- RGIS は、デジタル活動による環境への影響を軽減するために、責任ある慣行を取り入れています。これには、最適化されたサーバーの使用、適切な機器のリサイクル、エネルギー効率の高いテクノロジーの選択が含まれます。

責任あるデジタル認識:

- 当社では、デジタル技術の責任ある使用を推進し、紙の印刷の制限や IT リソースの使用の最適化など、従業員の間で環境に配慮した行動を促進しています。



RGIS

AIポリシー

10. 責任、コンプライアンス、監視

AI生成エラーに対する責任:

- AI ツールが適切な承認なしに、または本ポリシーの範囲外で使用された場合、RGIS は在庫数、監査、または運用レポートにおける AI 生成エラーについて責任を負いません。このような誤りは社内調査の対象となり、違反が判明した従業員に対しては懲戒処分が下される可能性があります。

監視と監査:

- RGIS は、会社所有または RGIS に接続されたすべてのデバイスにおける AI ツールの使用を監視および監査する権利を留保します。本ポリシーに従わない場合は、解雇を含む懲戒処分を受ける可能性があります。

違反の報告:

- 従業員は、本ポリシーの違反が疑われる場合は、直ちに上司、IT セキュリティ、または AI ガバナンス チームに報告する必要があります。

11. ポリシーの修正

RGIS は、いつでも本ポリシーを修正または更新する権利を留保します。変更があった場合は公式チャネルを通じて通知され、リリース後すぐに有効になります。



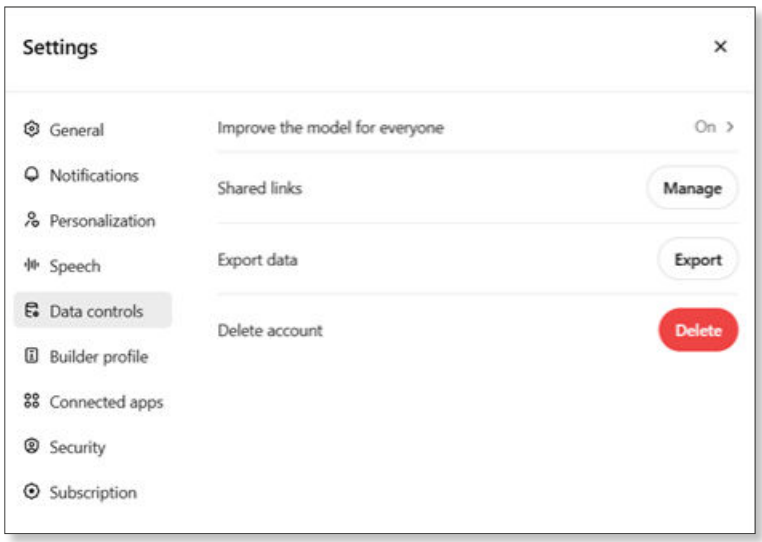
RGIS AIポリシー

付録

CHATGPT









RGIS AIポリシー

付録

CHATGPT

